

人の活力・健康を増進するヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究拠点

国家的・国際的課題と要請

■ 少子高齢化に拍車をかける「人と社会の活力低下」は、先端医療中心のライフイノベーションだけでは解決できない

■ 国連は、体育・身体活動・スポーツが、健康、社会・経済的発展、若者のエンパワメント、平和構築に重要と宣言(2015 ユネスコ総会議決議、前文+全13条70項)

■ 「スポーツ庁」は、2021年の東京五輪・パラリンピックを好機として、スポーツの社会機能を活用した健康長寿社会の実現を計画(第二期スポーツ基本計画)

■ 国際動向に基づいた国のハイパフォーマンス事業を支援するアカデミアのAll Japan体制が必要

健康・スポーツ科学分野が抱える課題

- ① 国民の健康長寿意識の向上など、社会的ニーズを踏まえた「学際性が求められる分野」となる。
- ② 今後の発展には、歴史的背景で全国に点在する研究者への最先端研究機会の提供が不可欠。
- ③ 個々の大学を越えた有機的なネットワーク形成が不可欠。

本拠点の目的

身心の活力の最適化(ヒューマン・ハイ・パフォーマンス; HHP)に向けた持続性のある運動プログラムやスポーツ技術の開発に加え、情報医工学による体工医融合型の次世代HHP科学の共同利用・研究を推進し、心・体・技3部門を縦横した世界レベルの未踏事業を創出できる基盤を整備することで「人と社会の活力低下問題」の解決に資する。

HHP研究拠点形成後の展開

健康長寿社会の実現を目指す「スポーツ立国戦略」を先導し、次世代健康・スポーツ科学としてHHP科学を創成



人の活力・健康を増進するヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究拠点

目指すべき
社会

人の活力・健康増進！（スポーツライフイノベーション）

さらなる研究水準の向上！

身心の活力
(Human Performance: HP)

- (構成要素)
- ・体力
 - ・技術
 - ・認知力
 - ・レジリエンス

革新的な
運動・栄養・睡眠
etc.

HHP科学の拡大



アスリート
競技力向上



子ども
学業成績向上
体力向上



成人
仕事能力向上
疾病予防



高齢者
生活機能賦活
健康長寿

HPの最適化
(HHPの実現)

超回復の原理

HPのベースライン

社会の課題



身心の活力低下



共同利用・共同研究

これまでにない新たな
知見・機能の追加・融合